

# 膝周囲骨切り手術を受けられる

患者用クリニカルパス P1 / 3

様へ

説明医師

説明看護師(外来)



























看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	治療前日 (入院日)	当日術前	当日術後
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる		○手術後の苦痛が最小限である
検査	・身長、体重測定		採血
食事	・夕食後絶食、21時以後絶食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用		絶飲食
	朝食は 自宅で		朝より食事再開 
処置・観察	リストバンドを装着します (退院日まで)	時間になれば 看護師が手術 室にご案内し ます	手術後以下の挿入物、 装着物があります ・酸素マスク → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 点滴終了後、抜去します ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → 抜去します ・フットポンプ → 取り外します (血栓予防)
	手術部位にマーキングを 行います		創部を観察、処置を行います
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります			
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を 看護師にお渡しください	手術室で点滴 を開始します (手術が午後の場 合、病棟で点滴を 開始します)	鎮痛剤を服用します
		以下の点滴を 行います ・持続点滴 ・抗菌薬 ・鎮痛剤	
行動・リハビリ	シャワー浴 洗髪をします	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキングを装着します ・入れ歯、アクセサリー、時計等の 取り外し	午前中、全身清拭し手術着 からパジャマに着替えます  室内トイレへは看護師が 付き添います
	制限はありません	翌朝までベッド上 安静です	療法士付き添いのもと、リハビリ を開始します (安静度やリハビリの進行には 個人差があります)
説明	主治医・麻酔科医より (外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について	主治医より ・手術結果について	
	病棟・手術室看護師より ・入院生活について (パスシートを使用) ・手術について	看護師より ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について	
	薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について		

**\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

\* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。

\* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日～ 月 日	月 日	月 日～ 月 日	月 日											
経過	術後 2～6 日目	術後 7 日目	術後 8～19 日目	術後 20 日目 (退院日)											
目標	○手術後の苦痛が最小限である														
検査	 ・採血  ・膝レントゲン														
食事				退院日は朝食のみ											
															
処置・観察	以下の挿入物があります ・創部の管 → 状況を見て術後 2 日目頃に抜去します														
	 創部を観察、処置を行います →														
	 状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります														
点滴・内服	 鎮痛剤を服用します →														
行動・リハビリ	 創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します → (週 3 回、病棟毎で日が異なります)														
	・弾性ストッキングを装着します →														
	 療法士付き添いのもと、リハビリを継続します → (安静度やリハビリの進行には個人差があります)		 朝食後退院です												
説明			 医師より ・退院後の治療計画、療養上の留意点について ・退院後のリハビリテーションについて												
			 看護師より ・退院後の療養生活について (退院療養計画をお渡しします)												
			 療法士より ・退院に向けて												

